

施策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040101-02-281
基本事業：	03	健康を支える環境の整備	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	健康づくりサポーターの年間活動回数 健康づくりサポーター（食生活）の充足率 健康づくりサポーター（運動）の充足率 救急医療で対応している科目数		担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
筑紫地区住民等		運営主体 筑紫地区5市 受託機関 一般社団法人筑紫医師会 「病院群輪番制」 実施時間 (1)日曜、祝日、8月13～15日、年末年始の9時～17時まで (2)休日、平日の17時から翌9時まで 実施内容 救急を要する患者で病（医）院での診療 (1)休日の昼間（在宅当番医制）…内科、外科（各2箇所）、産婦人科（1箇所） (2)休日及び平日夜間（病院群輪番制：筑紫管内9病院）…内科、外科（2箇所） 「小児救急」 実施時間 (1)休日、年末年始 9時～21時30分（受付終了21時） (2)月～土曜 17時～21時30分（受付終了21時） 診療実施日 月、水、金曜 …福大筑紫病院 火、木、土、日曜…福岡徳洲会病院 R2.4.1より、診療時間変更				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
「病院群輪番制」…住民の救急医療を確保するため、筑紫地区5市と筑紫医師会に属する病（医）院が一体となって、救急医療体制を整備する。 「小児救急」…休日及び夜間における小児救急診療を確保するため、福岡大学筑紫病院と福岡徳洲会病院が輪番により、小児救急医療体制をとっている。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
病院群輪番制受診者数（筑紫地区住民）	人	27,079	31,184	33,000	33,000			
小児救急受診者数（筑紫地区住民）	人	6,923	9,024	15,000	15,000			
5. コスト								
事業費	計	千円	20,423	20,755	20,861	20,606		
	国	千円	0	0	0	0		
	県	千円	1,825	1,844	1,825	1,823		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	18,598	18,911	19,036	18,783			
正職員人工数	人工	0.2	0.3	0.3	0.3			
正職員人件費	千円	1,546	2,345	2,407				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	21,969	23,100	23,268	20,606			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	<状況> 令和4年度より、病院群輪番制受診者数が約4千人、小児救急受診者数が約2千人ずつ増加している。 <現状> 新型コロナウイルス感染症の感染状況の収束及び感染法上の5類への位置付けによるものが考えられる。 <課題> 令和2年4月1日より、小児科医の減少、医師の働き方改革により、小児救急は1.5時間の診療時間短縮となった。コンビニ受診による増加が懸念されており、医師の負担を軽減するため、医療機関の適正受診が求められている。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）					

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
筑紫地区救急医療対策事業は昭和54年度から、小児救急医療対策事業は平成16年度から筑紫地区5市共同で開始した事業である。	